

平成22(2010)年度 「NGO 長期スタディ・プログラム」最終報告書

提出日：2011年3月15日

氏名：宮里 沙季子

所属団体：NGO ONE LOVE

受入先機関名(所在国)：Federation of Business & Professional Women Nepal (Nepal)

研修期間：2010年10月20日～2011年3月9日

研修テーマ：18歳以上の若者の経済的自立支援事業の構築

全体研修目標：

18歳から50歳までの貧困層の女性達をターゲットにした、Micro/Small Business の構築を通しての経済的自立支援に取り組む、Federation of Business & Professional Women Nepal の Business Service Center (BSC) Project に携わり、女性たちがネパール社会で事業経営者として経済的自立を図れるためのプロジェクトの運営方法や受益者である女性たちへのきめ細かなアプローチ方法を学ぶ。BSC Project の最終目的でもある、女性たちの経済的自立に到達するための、BSC Project が女性たちへ提供するサービスやプログラムの内容についても、当団体への具体的な還元方法に配慮したうえで学びを深める。

また、プロジェクト実施から完結までの期間において、受益者の女性たちの直面する問題や解決すべき課題に対しての、BSC Project の対応やフォローアップにも理解を深める。

当団体の研修テーマでもある、18歳以上の若者の経済的自立を促すための長期的な事業

実施において必要なプロセスや効果的な事業運営のための手法、受益者の女性たちへの配慮する点や BSC Project のサービスの提供方法および手法の知識を身につけるためにも、研修中に以下の点を意識的に学んだ。

BSC Project の実施状況や課題を学ぶことを通じ、プロジェクトの全体像の理解と強化すべきポイントを理解する

ネパール社会において、女性たちのおかれている状況を理解したうえで、BSC Project がどのように女性たちに働きかけているのかを理解する

BSC Project のフォローアップの対象や頻度、問題に対する対応策を学ぶことを通じ、効果的な事業の運営方法を理解し学ぶ

BSC Project の受益者の女性たちへのエンパワーメントプログラムの企画および立案方法を学ぶ

具体的な研修内容：

BSC Project は最終目的であるターゲットグループの女性たちの経済的自立を到達するため、Business incubator の仕組みを取り入れ、ビジネスの運営に必要な様々なサービスを提供している。そのサービスの内容には、女性たちのエンパワーメントのためのプログラムから、彼女たちの従事する Micro/Small Business の向上のためのテクニカルトレーニングの提供や、BSC Project からのビジネスカウンセリング等のフォローアップが含まれる。そのサービスパッケージが一つのトレーニングサイクルとして、7つのターゲットエリアで BSC Technical Team によって実施されている。

研修プログラムでは、BSC Project が受益者に提供するサービスの内容の理解と、そのトレーニングサイクルの始まりから終わりまでの運営方法や受益者へのアプローチの手法の

学びを中心に、研修生として BSC Project に従事した。

研修の成果：

BSC Project の全体像を理解することで、プロジェクトの組み立てに必要な要素とその内容を学ぶことができた。本研修での学びを、以下の点に留意し、事業案の構成作業に役立てることができる。

- ・プロジェクトの到達目標の設定およびその完結期間
- ・受益対象者となる人々の条件の設定
- ・プロジェクト終了後に見込める成果の確認
- ・どのような内容のサービスや支援を提供するのかを明確にする

BSC Project は Business incubator system のアプローチを取り入れたプロジェクト展開方法を行っていた。そのため BSC Project は、Micro/Small Business を運営するに必要な知識や技術を得られるトレーニングをサービスパッケージの一部として、受益者に提供していた。プロジェクト自身の職業訓練校や専門学校を所有するのではなく、受益者とトレーニングを提供する機関のつなぎ役としての役割を明確にもっていた。

当団体も、BSC のアプローチを参考にしたプロジェクト展開が期待される。そうすることで、女性たちの事業主としての経済的自立を促す BSC Project のような総合的なサービスおよびサポートの提供が可能になると考える。

研修中の学びをとおして、18歳以上の若者の経済的自立支援のためのプロジェクト構築および実施を行うために、必要な知識と手法を身につけることができた。

本研修成果の自団体の組織強化や活動の発展への活用方針、方法：

現在、当団体の活動国であるフィリピンとネパールにおいて、若者への経済的自立支援事業を計画している。それぞれの国において、受益対象者となる若者の選定は行われている

が、事業案の具体的な組み立てが完成できずにいる。

本研修プログラムを修了して得ることのできた成果を、プロジェクトの事業案の構成から実施に至るまでの間で還元する。そうすることで、フィリピンとネパールにおける当団体の事業を開始することができ、効果的な運営を行うことができる。

本プログラムや事務局側に対する提案、要望等：

研修中、定期的に月間レポートの提出を行うことで、研修生として自分の中での学びをまとめる良い機会になった。事務局（JANIC）の月間レポートに対する丁寧なコメントにも励まされ、また頑張ろうという気持ちになれた。提案としてその際、受入先の団体（FBPWN）が研修生に対しての役割をきちんと果たしているかどうかの確認のため、月間レポートの記入欄要項に、研修生のコメントを書く項目を設けても良いと思った。